

「大阪府史」の修史事業について

大北智子（大阪府立中之島図書館）

「大阪府史」全8巻（通史編7巻・別巻）の刊行は大阪府が昭和46年から本格的な修史事業として取り組み平成3年に終了した。この「大阪府史」は上古から幕末にいたるまでの通史を刊行することにより、日本史の中で大阪府の占めてきた位置づけを解明し、郷土に対する認識を深めさらに先人の努力の成果を将来に引きついでいくことを目的として着手された。

これ以前に大阪府が府史として編集したものといえば明治36年第5回内国博覧会開催時に編纂された「大阪府誌」第1編～第5編、「大阪府全志」巻之1～巻之5（大正11）、昭和43年、開府百周年記念事業の一環として発行された「大阪百年史」がある。

「大阪府史」編集の経緯

- | | |
|----------|--|
| 昭和 29.9 | 「大阪府史編集資料室」を設置。（総務部文書課所管） |
| 昭和 45.11 | 「大阪府史編集室」と改称。（企画部総合企画課所管） |
| 昭和 46 年度 | 「大阪府史編集策定要領」が定められ大阪府における本格的な修史事業がスタートする。当初、5カ年計画で先史時代から明治維新までを内容とする通史編全4巻、約4000頁を編集刊行することとなる。史料収集及び調査研究を大阪府史研究会（会長 黒羽兵治郎）に委託し、同時に府史編集委員会、府史編集専門委員会を設置した。 |
| 昭和 48 年度 | 「大阪府史執筆要綱」を策定。 |
| 昭和 49.7 | 基本となる史資料が多く、その解読研究に予想外の日時を要したこと、当初計画の再検討の必要性等の理由により5カ年計画を7カ年に全4巻を全5巻に変更。 |
| 昭和 52.5 | 7カ年計画を9カ年に全5巻を全7巻に再び変更。 |
| 昭和 53.3 | 第1巻（古代編Ⅰ）刊行。 |
| 昭和 53.4 | 「大阪府史編集室」が企画部から教育委員会・中之島図書館所管となり「府史編集班」を設置。 |
| 昭和 54.11 | 第3巻（中世編Ⅰ）刊行。 |
| 昭和 56.5 | 第4巻（中世編Ⅱ）刊行。 |
| 昭和 59.4 | 「府史編集室」と名称変更。 |
| 昭和 59.12 | 府史編集専門委員の再編がなされる。 |
| 昭和 60.5 | 第5巻（近世編Ⅰ）刊行。 |
| 昭和 62.3 | 第6巻（近世編Ⅱ）刊行。 |
| 昭和 63.4 | 別巻の発行が決まり、全8巻に計画変更。 |
| 平成 1.3 | 第7巻（近世編Ⅲ）刊行。 |

- 平成 2.3 第 2 卷（古代編Ⅱ）刊行。
平成 3.3 別巻（第 1 巻補遺・年表・索引）刊行。
平成 3.3 「府史編集室」を閉室。

平成 3 年度～7 年度、5 カ年計画で大阪府史原稿、収集資料等の整理を行ない、以後、大阪府史関係の事務等は大阪資料・古典籍課が引き継ぐ事となった。

昭和 60 年、大阪府公文書館へ府史編集収集資料の一部を移管した。